

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	文章表現基礎講座（Basic Course of Sentence Expression）		
ナンバリングコード	A10303	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル コミュニケーション科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A030865	クラス名	経営経済学部
担当教員名	東寺 祐亮		
履修上の注意、 履修条件	教科書は必ず持参してください。ノートを用意し、国語辞典（電子辞書も可）を携帯するのが望ましいです。予習や復習のために図書館や人間力育成センターの図書を積極的に利用しましょう。授業時間以外にも新聞・雑誌・本をよく読むようにしましょう。		
教科書	名古屋大学日本語研究会GK7著、『スキルアップ！日本語力 大学生のための日本語練習帳』，東京書籍		
参考文献及び指定図書	『三省堂国語辞典 第六版』（比較的小型）、江守賢治『漢字筆順ハンドブック 第二版』（三省堂）、小学館辞書編集部（編）『日本語便利辞典』（小学館）、『国語力アップ400問』（NHK出版[生活人新書067]）、『国語力もっとアップ400問』（NHK出版[生活人新書105]）池上彰『日本語の「大疑		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、基礎学力講座(国語)、英語1・2、情報リテラシー1・2		

○基本情報		
授業の目的	さまざまな媒体でさまざまな人が発信することが一般的となった現在、「理解する力」や「伝える力」は一層重要になったといえます。他者が発信した情報を正確に理解する、あるいは、他者に正確に伝えるためには、日本語の力が不可欠です。本授業の目的は、テキストを通して語彙・文・文章について学び、これから必要になる日本語力を身につけることです。 日本語力は「理解する力」や「伝える力」につながるため、大学初年度における日本語力養成は、他者とのコミュニケーションのみならず、大学4年間の勉学生活の土台を作ることになります。さらには、卒業後の社会人がもつべき一般常識を養う側面もあります。本授業では日本語で豊かに表現するための基礎作りを目指します。	
授業の概要	本授業では、日本語知識の学習、問題演習、日本語知識の応用に取り組むことで日本語力を身につけます。第1週はこの科目のオリエンテーションを行います。第2週から第15週まで教科書の第1章から第4章を学びます。敬語、文法、語彙・言葉の意味、漢字・表記を中心に日常のコミュニケーションに活かせる言語表現を徹底して練習します。必要に応じて、語彙力を高めるために語彙力要請問題(昭和学院短期大学オープンエデュケーション資料)を解きます。 第16週に第1週から第15週までの授業内容についての期末試験を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	知らない単語を調べる、積極的に読書に取り組むなど、普段の生活の中で日本語に対する意識・関心を高め、日本語に積極的に関わることができる。	10点	10点	10点
【知識・理解】	新聞・新書・レポート等で使用されている語彙を正確に理解し、内容を読み取ることができる。	10点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学習した語彙・文法・文章の知識を活かし、物事の説明や自身の意見の伝達ができる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	他者に自身の意見を伝えるために、適切な表現を選び、内容に説得力を持たせることができる。		20点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
・課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。 ・期末試験やレポートについては授業内で説明を行います。				

○その他	
・提出物、配布物のためにPCが必要になる場合があります。いつでも使用できるように準備をしておいてください。 ・必要に応じて、教科書以外に学習支援サイト等を使用する場合があります。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	文章表現基礎講座（Basic Course of Sentence Expression）	授業コード	A030865
		担当教員	東寺 祐亮		
学修内容					
1. ガイダンス					
半年間の学習に関するオリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表の取り扱い、質問の受け付け、成績評価の方法等について説明します。					
予習					約2時間
復習		授業の方法、成績評価の方法等をふりかえること。			約2時間
2. 部首・音訓・熟語					
教科書の第4章第12回 部首・音訓・熟語、その他語彙力強化問題（昭和学院短期大学オープンエデュケーション資料）					
予習		教科書pp.84-86を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.87-89の内容をふりかえること。			約2時間
3. 仮名遣い・送り仮名					
教科書の第4章第13回 仮名遣い・送り仮名、その他語彙力強化問題（昭和学院短期大学オープンエデュケーション資料）					
予習		教科書pp.90-92を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.93-95の内容をふりかえること。			約2時間
4. 類義語・対義語					
教科書の第3章第8回 類義語・対義語					
予習		教科書pp.58-60を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.61-63の内容ををふりかえること			約2時間
5. 動詞の自他・視点					
教科書の第3章第9回 動詞の自他・視点					
予習		教科書pp.64-66を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.67-69の内容をふりかえること。			約2時間
6. 文体、話し言葉・書き言葉					
教科書の第2章第6回 文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文					
予習		教科書pp.70-72を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.73-74の内容をふりかえること。			約2時間
7. コロケーション					
教科書の第3章第11回 コロケーション					
予習		教科書pp.76-78を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.79-81の内容ををふりかえること			約2時間
8. 品詞・活用の種類					
教科書の第4章第4回 品詞・活用の種類					
予習		教科書pp.32-34を読むこと			約2時間
復習		教科書pp.35-37の内容ををふりかえること			約2時間

○授業計画		科 目 名	文章表現基礎講座（Basic Course of Sentence Expression）	授業コード	A030865
		担当教員	東寺 祐亮		
学修内容					
9. ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉					
教科書の第2章第5回 ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉					
予習	教科書pp.38-40を読むこと				約2時間
復習	教科書pp.41-43の内容をふりかえること。				約2時間
10. 文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文					
教科書の第2章第6回 文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文					
予習	教科書pp.44-46を読むこと				約2時間
復習	教科書pp.47-49の内容をふりかえること。				約2時間
11. 接続語・指示語と文章					
教科書の第2章第7回 接続語・指示語と文章					
予習	教科書pp.50-52を読むこと				約2時間
復習	教科書pp.53-55の内容をふりかえること。				約2時間
12. 敬語の種類と使い分け					
第1章第1回 敬語の種類と使い分け					
予習	教科書pp.12-14を読むこと				約2時間
復習	教科書pp.15-17の内容をふりかえること。				約2時間
13. 注意すべき敬語					
教科書の第1章第2回 注意すべき敬語					
予習	教科書pp.18-20を読むこと				約2時間
復習	教科書pp.21-23の内容をふりかえること。				約2時間
14. 配慮を示す言葉					
教科書の第1章第3回 配慮を示す言葉					
予習	教科書pp.24-26を読むこと				約2時間
復習	教科書pp.27-29の内容をふりかえること。				約2時間
15. 総合問題と全体のまとめ					
教科書の第5章第14回 総合問題					
これまで学習してきたことのまとめ					
予習	教科書pp.98-103の総合問題をとくこと。				約2時間
復習	教科書pp.98-103の総合問題の内容をふりかえること。				約2時間
16. 期末試験					
第1週から第15週までの授業内容についての試験を行います。					
予習	期末試験に備えて半年間で学んだ授業の内容を再度ふりかえり、必要なまとめや補充をおこなうこと。				
復習					